

龍ヶ崎市議会だより



— 特集 —

令和8年度予算審査	… 2
高校生との意見交換会、政策討論会	… 5

令和8年度 予算

令和8年3月定例会において、予算審査特別委員会（総務教育・健康福祉・都市経済）が開かれ、令和8年度予算の審査が行われました。

こちらでは、予算審査特別委員会での質疑内容を抜粋して掲載しています。



◀ Youtubeはこちらからご覧いただけます。

予算審査特別委員会での審査結果

予算額（対前年度比）

◆ 一般会計予算	310億2,100万円（△1.5%）	賛成多数で了承
◆ 国民健康保険事業特別会計予算	67億8,400万円（△1.2%）	賛成多数で了承
◆ 介護保険事業特別会計予算	65億5,500万円（△1.0%）	賛成多数で了承
◆ 児童発達支援事業特別会計予算	1億4,250万円（△10.2%）	全員賛成で了承
◆ 後期高齢者医療事業特別会計予算	24億3,100万円（△9.8%）	賛成多数で了承
◆ 下水道事業会計予算	39億9,485万円（△13.0%）	賛成多数で了承

議員 市内で危険と思われる擁壁が見受けられるが、それに対しての対策や現状把握はどのようになっているか。また、それに対して行政指導や地域への周知等は行われているのでしょうか。

都市計画課長 近隣からの危険連絡で現地確認や対策依頼をしている。一定基準に従い補助対象になるが、市が個人住宅の擁壁については現状把握していない。

住宅耐震改修促進事業

櫻井 速人 議員



議員 こども計画策定に市民の意見や要望をどう取り入れますか。

こども家庭センター長 計画策定にあたって、市民やお子さんの意見を聴取することが重要です。今後、未就学児や小学5年生、中学2年生の保護者に子育て施策に関するアンケート、小学5年生や中学2年生、高校2年生に学校生活や家庭での生活実態アンケートを実施予定。さらに、こども・若者の意見聴取の場としてワークショップ開催、桜祭りでは未就学児にシールアンケートを実施予定。

こども計画に市民意見を

伊藤 悦子 議員



議員 長戸コミュニティセンターのオープンに合わせて、高齢者の健康寿命延伸を図るための龍・流連携事業の新たな講座の説明がありました。詳細を教えてください。

地域づくり推進課長 健康寿命延伸が目的ですが、年齢制限無しで、流通経済大学の学生の方にスローエアロビックを指導してもらった講座です。学校の関係もあり、春学期、秋学期で月2回程度を考えております。

長戸コミセン講座事業

大野 みどり 議員



議員 まいん健康サポートセンターの利用者数、登録者数を教えてください。

健康増進課長 まいんの登録者数は令和6年度で689名です。令和5年度が582名ですので、1年間で100名強登録者数が増えている状況です。

議員 高齢者にはこういった施設が喜ばれているということですか。ぜひ松葉・長山地区にもこのような施設の検討を希望します。

健康サポート施設を

札野 章俊 議員



久米原 孝子 議員



認知症初期集中支援

議員 認知症初期集中支援推進事業を業務委託するということですが、内容を教えてください。

福祉総務課長 家族の訴えにより、

認知症が疑われる方、認知症の方及びその家族を訪問し、認知症の観察評価をして、家族支援などの初期支援を専門医、かかりつけ医と連携し包括的・継続的に行うものです。

議員 家族が認知症かもしれないと相談をしたら対応する取組なので、丁寧な周知と対応をお願いします。

山村 尚 議員



マル福等の医療費助成

議員 マイナンバーカードで受給者証なしに利用できるとのことだが、何ができるようになるのか。

保険年金課長 現在は、医療機関で

保険証+受給者証が必要ですが、今はマイナンバーカードで資格確認が可能になります。将来的には、県外でもそのまま使える仕組みを目指しています。まずは第一段階として、マル福資格確認ができるようになります。

山宮 留美子 議員



高齢者見守りサポート

議員 高齢者等緊急通報システムの新しい取り組みの高齢者見守りサポートの事業内容について教えてください。

福祉総務課長 一人暮らし高齢者の

家庭内での事故の早期発見、孤独死の防止等、生活上の不安解消にも繋がります。24時間365日対応が可能。高齢者の家庭での動きが把握でき、もしもの時の見守り環境が充実し、安定した生活を送ることが出来ます。

加藤 勉 議員



空家対策の現状は？

議員 今回、行政代執行される空家は、いつ頃に特定空家に認定されたものですか。

まちの魅力創造課長 現在、市内には

特定空家に認定されている物件が7件あります。行政代執行に及ぶ恐れがある今回の空家は、令和元年度に特定空家に認定以降も継続した交渉を重ねてきましたが、令和8年1月に空家の解体、除却に向けた命令処分を行ったものです。

岡部 賢士 議員



管理不全空き地の雑草

議員 昨年の条例改正で、空き地に繁茂した雑草に関しては、行政代執行まで可能となり、市ができる対応が強化されたが、雑草は対象外。周囲に迷惑をかけている雑草についても、市から指導できるように、更なる条例改正をすべきでは。

都市整備部次長 令和5年の民法改正で、越境樹木については、隣地から越境された土地の所有者が自ら切り取ることが可能となったため、現時点では、そうした制度の案内をするともに、できる範囲での対応をしている。

山崎 孝一 議員



稲作の生産調整事業

議員 生産調整推進対策事業費5840万円が計上されていますが、令和8年度の生産調整（減収）の方向性について伺います。

農業政策課長 昨年度比で170万円減

額になっていますが、主に市場の変動米価の高騰、主食用米作付けが増加しており転作作物が減少していたことが影響しています。令和8年度においても、農家の生産調整目標を達成した場合には引き続き支援を行っていく方針です。

後藤 光秀 議員



市民農園の拡充を

議員 龍ヶ岡市民農園と豊作村について、利用率と外国人利用者の状況を教えてください。

農業政策課長 豊作村は134区画のうち118区画の貸し出しで88%、龍ヶ岡

市民農園は108区画中107区画で99%となっております。外国人が借りている情報は得ておりますが数字までは抑えておりません。

議員 農業をやってみたい若い方も多いので、もっと気軽に使えるように料金や利用者資格の見直しを検討してほしい。

椎塚 俊裕 議員



STEAM教育の進め方

議員 STEAM教育でロボットカーは何台購入し、STEAM推進員が各学校を回ってやる方法は、今後継続する考えですか。

指導課長 20台購入し、5、6年の授業

で2人に1台、プログラミング学習を進め、指定されたコースを自動走行させる。今年度、長山小をモデル校とし授業実施。令和9年度は全小学校にSTEAM教育推進員を配置し、各校にSTEAM教育推進役を育成していく考えです。

油原 信義 議員

収支改善は不可欠！



議員 令和8年度当初予算で繰越金6億円、財政調整基金約5億8500万円を計上しているが、これは財政運営上適正な規模なのか、やむを得ない措置なのか。また、収支改善は見込めるのか。
財政課長 前年度実質収支の一部留保や地方譲与税等の上振れにより繰越金は確保可能。基金繰入も補正で減額し、年度末残高は前年度比で増加見込み。執行段階でも圧縮に努めており、高止まりながらも改善傾向にある。

大竹 昇 議員

経営体育成促進事業とは



農業政策課長 土地改良事業を契機として川原代地区にて担い手農家への農地の集積及び集約化の促進に支援し経営土地改良事業にて、農業生産性の向上や地域経済に寄与しています。
議員 なるほど、これからの儲かる農業は、生産性を伸ばすだけでなく、観光農園としての養魚場やシイタケ栽培ファームのように、可能販売額を上げていく農業が不可欠だと思いますので、後程、実例があればお聞かせ下さい。

杉野 五郎 議員

ライフデザイン形成とは



議員 市は、少子化対策の一環として中学二年生を対象に結婚、子育て等のライフデザイン事業拡充予算を計上。当事業の視点は逆行では。生徒を小さな枠に押さえ込むことにはなるのでは。自由に育む事が大切と考える。教育長の認識の程は。
教育長 学校では、就職までの道筋を進路指導の中で行っています。当事業は、結婚とか将来の長い期間で考える話です。今後やって行かないと見えない所もあります。

鴻巣 義則 議員

陸上競技場の維持と活用



議員 たつこのフィールドは陸上競技場の第3種公認や維持に多額の費用がかかるが、大会等の利用が少ないと思います。県内の陸上競技場の整備状況について伺います。
スポーツ推進課長 県内の陸上競技場は8施設、2種は一部で、多くは3種。県南では石岡市・龍ヶ崎市・筑波大学の3施設があります。
議員 利用が少ないのは課題であるため、大会等での利用促進を図るべきだと思います。

大野 誠一郎 議員

継続的な文化活動を



議員 今後、文化会館の指定管理者が新しく変わること、文化活動はどのように変わるのですか。
文化・生涯学習課長 民間のノウハウを生かして、デジタルなども活用しながら若い世代の参加を増やし、地域の活性化につなげていきたいと考えています。
議員 ただ管理者が変わっただけでは意味がないので、新しい文化の流れをしっかりと作ってほしいです。採算だけでなく、自主的に継続的な取組をお願いしたいと思います。

行政視察報告 議会運営委員会

令和8年2月3日～4日、大阪府和泉市、泉大津市が取り組む議会改革の先進事例について視察しました。

和泉市議会では、音声をリアルタイムで文字化する「UDトーク」や、補聴器に直接音声を届ける「ヒアリングループ」など、誰もが傍聴しやすい環境づくりの取組について、泉大津市議会では、議員自らが駅前などで傍聴を呼びかける「議会傍聴よびかけ隊」や議場見学会など、市民参加を促進する取組について視察しました。

本市議会においても、これらの先進事例を参考に、市民の皆さんに開かれた議会運営に引き続き取り組んでまいります。



高校生との意見交換会

愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校

龍ヶ崎市議会では、議員が市内の高校や大学を訪問し、生徒や学生の皆さんと意見交換を行う取組を進めています。

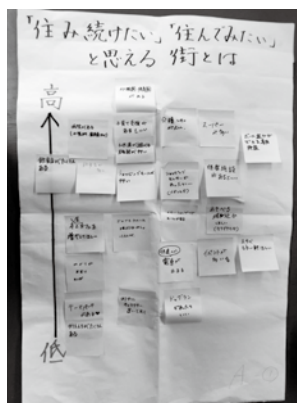
1月30日には、5名の議員が愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校を訪問し、「『住み続けたい』『住んでみたい』と思えるまちとは」をテーマに、生徒の皆さんとグループディスカッションを行いました。

同校には市外から通学している生徒も多く、それぞれが暮らすまちの「好きなところ」「良いところ」に加え、「もう少しこうだったらよいのに」と感じている点について、率直なご意見を伺うことができました。

若い世代ならではの視点から、まちに求める魅力や居心地の良さにつながる多くのヒントを得る、貴重な機会となりました。



▲議会の仕組みや議員活動について説明した後、議会クイズを行い、楽しみながら理解を深めていただきました



グループディスカッションでは、はじめに「『住み続けたい』『住んでみたい』と思えるまち」について各自の意見を付箋に記入しました。

その後、グループ内で意見を交わしながら、付箋を優先度順に並べ替えたり、新たな意見を出し合ったりしました。

政策討論会

初

龍ヶ崎市議会では、市民の皆さまの声を聴取し政策に反映していく「政策サイクルの実現に向けた取組」を進めています。

この取組の中で、非常に重要な役割を担うのが「政策討論会」です。

政策討論会は、市政の重要なテーマや課題について、議員同士が自由に意見を交わし、議論を深める場です。通常の会議（本会議や委員会）で行われる「議員から市執行部への質問」とは異なり、議員同士が直接議論を行うことで、議員間の共通認識や合意形成を図り、政策提言や政策立案を推進することを基本としています。

この度、市の最上位計画である「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」後期基本計画策定に向けた政策提言を目的として、龍ヶ崎市議会では初となる政策討論会を開催しました。

政策討論会は、3月26日、4月9日、4月17日、4月28日の4回で開催し、市政を取り巻くさまざまな課題について議員それぞれの立場や視点から多様な考えが示される中で、政策提言の方向性について一定の合意形成が図られました。

今後、「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」後期基本計画の策定に向けた政策提言として取りまとめ、市に対して提言を行う予定です。



本会議

ダイジェスト Digest

審議された主な議案の内容と、本会議で行われた議案に対する質疑や討論の一部について掲載しています。議案を所管する委員会においても、議案等の審査を行っており、その審査内容の一部を次ページに掲載しています。



▲新長戸コミュニティセンターが、令和8年4月19日にオープンしました。多目的室や調理室、芝生広場などがあります

◆議案第8号
龍ヶ崎市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について



▲令和8年度より「こども未来部」が設置されました

◆議案第1号
龍ヶ崎市部設置条例等を改正する条例について
子育て・子育て支援を一元化することを主たる目的とした新たな「部」として「こども未来部」を設置するほか、所要の改正を行うものです。

伊藤議員 下水道利用者の数、

◆議案第23号
龍ヶ崎市下水道条例の一部を改正する条例について
本年4月から茨城県南水道企業団の水道料金請求が2か月ごとになることに伴い、営業で使用する水の量が公共下水道に排除する汚水の量と著しく異なる場合における申告書の提出を水道料金の請求にあわせて2か月ごとにするほか、所要の改正を行うものです。

◆議案第35号
令和8年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計予算

◆議案第41号
市有財産の処分について

◆議案第10号
龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

◆議案第35号
令和8年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計予算

◆議案第41号
市有財産の処分について

◆議案第10号
龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

◆議案第35号
令和8年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計予算

◆議案第41号
市有財産の処分について

◆議案第10号
龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

◆議案第35号
令和8年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計予算

◆議案第41号
市有財産の処分について

◆議案第10号
龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

◆議案第35号
令和8年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計予算

◆議案第41号
市有財産の処分について

◆議案第10号
龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

◆議案第35号
令和8年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計予算

◆議案第41号
市有財産の処分について

◆議案第10号
龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

◆議案第35号
令和8年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計予算

◆議案第41号
市有財産の処分について

◆議案第10号
龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

◆議案第35号
令和8年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計予算

◆議案第41号
市有財産の処分について

◆議案第10号
龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

◆議案第10号
龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

◆議案第35号
令和8年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計予算

◆議案第41号
市有財産の処分について

◆議案第10号
龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

◆議案第35号
令和8年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計予算

◆議案第41号
市有財産の処分について

◆議案第10号
龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

◆議案第35号
令和8年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計予算

◆議案第41号
市有財産の処分について

◆議案第10号
龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

◆議案第35号
令和8年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計予算

◆議案第41号
市有財産の処分について

◆議案第10号
龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について



常任委員会

第1回定例会においては、議案等の審査が3つの常任委員会（総務教育、健康福祉、都市経済）に付託され、各委員会において慎重に審査が行われました。その審査内容の一部について掲載しています。



▽総務教育委員会

◆議案第22号

龍ヶ崎市営住宅管理条例の一部を改正する条例について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成で了承**しました。

◎質疑

杉野委員 市営住宅3階の住戸のうち、1年以上入居の申込みがないものについて、入居者の資格を緩和することとありますが、3階に限定した理由を伺います。

管財課長 現在45軒ある空き部屋は3階が大半を占めており、1階や2階に比べて申し込みが少ないという状況を踏まえての措置です。18歳以上で単身世帯でも入居可能としており、若年層であれば3階でも入居していただけるものと判断し、今回は3階に限定した改正としたところでです。

◆議案第41号

市有財産の処分について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成で了承**しました。

◎質疑

札野委員 旧城南中学校の今後の工事のスケジュールを教えてください。

ください。

管財課長 契約締結後に1年弱程度の期間で解体工事、その後、令和9年度に新しい商業施設の建設工事を行い、オープンは令和10年の春頃を予定していると同っております。

▽健康福祉委員会

◆議案第12号

龍ヶ崎市立保育所設置条例の一部を改正する条例について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成で了承**しました。

◎質疑

山宮委員 八原保育所の定員144名に対し、通常保育の枠が135名分で、こども誰でも通園制度の利用枠として、9名分を常に空けておくということでしょうか。

福祉部次長 通常保育が必要なお子さんが増えた場合には、こども誰でも通園制度の利用枠を減らし、通常保育を優先していくような形での運営を予定しております。



▲「こども誰でも通園制度」は、令和8年4月1日から本格的に開始しました

◆議案第18号

龍ヶ崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成で了承**しました。

◎質疑

山崎委員 国民健康保険税に、子ども・子育て支援納付金課税額が追加されることとなった理由を伺います。

保険年金課長 国の「こども未来戦略」に基づく少子化対策の財源を確保するため、子ども・子育て支援納付金課税額が追加されることとなります。

子ども・子育て世帯全般について、企業を含めた社会経済の参加者全員で支え合うため、税ではなく社会保険料として幅広い層から徴収することとなります。

具体的な加算額は国民健康保険税全体の2〜3%相当を見込んでおり、仮に年間の国保税が80万円の世帯の場合、年間約1万6千円〜2万4千円の負担増となる試算です。

▽都市経済委員会

◆議案第21号

龍ヶ崎市火入れに関する条例の一部を改正する条例について

委員より質疑があった後、採

決の結果、**全員賛成で了承**しました。

◎質疑

岡部委員 林野火災注意報や林野火災警報の具体的な発令基準と、それに従わなかった場合の罰則について伺います。

農業政策課長 林野火災注意報は、前3日間の合計降水量が1ミリ以下かつ前30日間の合計降水量が30ミリ以下、または前3日間の合計降水量が1ミリ以下かつ乾燥注意報が発令されている場合に発令されます。一方、林野火災警報は、

注意報が発令に加えて、強風注意報が発令された場合に発令されます。

また、注意報違反に対する罰則はありませんが、警報違反の場合は30万円以下の罰金または拘留となります。



▲林野火災警報に従わなかった場合罰則を適用される可能性があります

議

決

結

果

令和 8 年第 1 回定例会

(会期：2月27日～3月18日(20日間))

議案番号	件名	議決結果
議案	第 1 号 龍ヶ崎市部設置条例等の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 2 号 龍ヶ崎市行政手続条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 3 号 龍ヶ崎市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 4 号 龍ヶ崎市職員の分限の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 5 号 龍ヶ崎市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 6 号 龍ヶ崎市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 7 号 龍ヶ崎市手数料条例の一部を改正する条例について	賛成多数で可決
	第 8 号 龍ヶ崎市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 9 号 龍ヶ崎市文化会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 10 号 龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	賛成多数で可決
	第 11 号 龍ヶ崎市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 12 号 龍ヶ崎市立保育所設置条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 13 号 龍ヶ崎市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 14 号 龍ヶ崎市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 15 号 龍ヶ崎市特定健康診査等実施条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 16 号 龍ヶ崎市特定健康診査等実施条例の特例に関する条例の一部を改正する条例について	賛成多数で可決
	第 17 号 龍ヶ崎市廃棄物の処理及び再生利用の促進に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 18 号 龍ヶ崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	賛成多数で可決
	第 19 号 龍ヶ崎市介護保険条例の一部を改正する条例について	賛成多数で可決
	第 20 号 龍ヶ崎市中小企業事業資金融資あっ旋条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 21 号 龍ヶ崎市火入れに関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 22 号 龍ヶ崎市営住宅管理条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決

議案等番号	件名	議決結果	
第 23 号	龍ヶ崎市下水道条例の一部を改正する条例について	賛成多数で可決	
第 24 号	工事請負契約に関する議決事件の変更について（令和 7 年度龍ヶ崎小学校校舎内装等改修工事）	全員賛成で可決	
第 25 号	あっせんの申立てについて	全員賛成で可決	
第 26 号	利根町の公の施設を本市住民の使用に供させることに関する議決事件の変更について	全員賛成で可決	
第 27 号	令和 7 年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第 1 2 号）	全員賛成で可決	
第 28 号	令和 7 年度龍ヶ崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	全員賛成で可決	
第 29 号	令和 7 年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	全員賛成で可決	
議	第 30 号	令和 7 年度龍ヶ崎市児童発達支援事業特別会計補正予算（第 4 号）	全員賛成で可決
	第 31 号	令和 7 年度龍ヶ崎市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 4 号）	全員賛成で可決
	第 32 号	令和 7 年度龍ヶ崎市下水道事業会計補正予算（第 7 号）	全員賛成で可決
	第 33 号	令和 8 年度龍ヶ崎市一般会計予算	賛成多数で可決
	第 34 号	令和 8 年度龍ヶ崎市国民健康保険事業特別会計予算	賛成多数で可決
案	第 35 号	令和 8 年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計予算	賛成多数で可決
	第 36 号	令和 8 年度龍ヶ崎市児童発達支援事業特別会計予算	全員賛成で可決
	第 37 号	令和 8 年度龍ヶ崎市後期高齢者医療事業特別会計予算	賛成多数で可決
	第 38 号	令和 8 年度龍ヶ崎市下水道事業会計予算	賛成多数で可決
	第 39 号	龍ヶ崎市教育委員会委員の任命について	全員賛成で同意
	第 40 号	龍ヶ崎市公平委員会委員の選任について	全員賛成で同意
	第 41 号	市有財産の処分について	全員賛成で可決
	第 42 号	龍ヶ崎市議会委員会条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
諮	第 1 号	人権擁護委員の推薦について	全員賛成で同意
問	第 2 号	人権擁護委員の推薦について	全員賛成で同意
報	第 1 号	専決処分の承認を求めることについて（和解に関することについて） 〔サブラにおいて、排煙口の手動開放引手に折りたたみ机を接触させ、排煙設備を破損させた事故〕	全員賛成で承認
	第 2 号	専決処分の承認を求めることについて（和解に関することについて） 〔文化会館の駐車場において、普通乗用車が防犯灯に衝突し、当該防犯灯を破損させた事故〕	全員賛成で承認
告	第 3 号	専決処分の承認を求めることについて（和解に関することについて） 〔市の所有地において、樹木の上部が折れて落下し、普通貨物車を破損させた事故〕	全員賛成で承認
	第 4 号	専決処分の承認を求めることについて（和解に関することについて） 〔樹木の伐採作業中の職員が、事業者が所有する光回線の引込線を損傷させた事故〕	全員賛成で承認

※賛否が分かれた議案等（ 部分）に対する議員の態度については、[次ページ](#)に掲載しています

議案等に対する議員の賛否



※採決の結果、賛否が分かれた議案等を掲載しています

※議長（後藤（敦）議員）は採決に加わりません

※金剛寺議員は体調不良により欠席しています

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 △=賛否不明

議案番号	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別																						
		賛成	反対	金剛寺	伊藤	石引	櫻井	札野	大野（み）	久米原	山宮	石嶋	山村	加藤	岡部	山崎	後藤（光）	椎塚	油原	大竹	後藤（敦）	杉野	寺田	鴻巣	大野（誠）	
議 7	可決	18	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議10	可決	18	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議16	可決	18	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議18	可決	17	2	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議19	可決	18	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議23	可決	18	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議33	可決	18	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議34	可決	17	2	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議35	可決	17	2	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議37	可決	17	2	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議38	可決	18	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

← 一般質問の内容については、次ページより掲載しています。



一般質問とは

議員が、市の行政全般にわたり、執行状況や将来の方針などを質問したり、政策提言を行うもので、定例会のみ行われます。質問時間は、答弁時間を含め、議員1名につき90分以内で、時間内であれば何回でも質問できます。

一般質問

市政を問う



← Youtubeはこちらからご覧いただけます。

山宮 留美子 議員



市長1期目の総括と 2期目の具体的施策について

議員 2期目の4年間で必ず実現したい公約は。市長 市内全ての小中学校体育館(災害時の避難所としても使用)に空調設備をできる限り早期に導入していきます。また、北竜台公園に「にぎわいパークアップ計画」も考え、多世代が自

多文化共生社会に対応した 学校教育のあり方について

議員 多文化共生社会の現状の中で、龍ヶ崎市内小中学校には16カ国127人の外国人児童生徒が通学しています。教育委員会として、教職員のフォローについてはどのように行われていますか。

教育監 担任等教職員個人の努力のみに委ねるのではなく、組織的な支援体制の下で対応し、持続可能な指導体制を構築しています。具体的には、



▲多文化共生を支える教育現場に対する支援を

久米原 孝子 議員



やさしい日本語の活用について

議員 やさしい日本語は、「易しい(簡単)」、そして「優しい(思いやりのある)」、ユニバーサルな日本語です。相手に配慮をしたやさしい日本語は、外国人、障がい者、高齢者、お子様とのコミュニケーションに有効になります。公式ホームページなどに活用をしてはいかがでしょうか。総合政策部長 やさしい日本語の普及はもとより、国籍、年代等を問わず、本市からの情報発信が分かりやすく伝わるよう工夫を重ねます。

里親制度について

議員 里親制度は、様々な事情で家族と離れて暮らす子どもを自分の家庭に迎え入れ、温かい愛情と正しい理解を持って養育をする制度です。家族と離れて暮らしている子どもたちは茨城県内には約700人いると言われています。その中の多くは家庭的な環境を必要としています。

「知っている」から「理解している」に転換が必要で、コミュニケーションなど有効的な場所以外、広報紙等各種媒体を活用した普及啓発活動を実施します。

大野 みどり 議員



耕作放棄地・遊休農地の 解決策について

議員 農地中間管理事業(農地バンク)の活用状況を聞かせください。市民経済部長 農地貸付面積は、令和6年度末時点で田が約999ヘクタール、畑が約39ヘクタール、合計約1038ヘクタール、活用割合は約40%。耕作者数は法人も含め118人、農地所有者数は1633人です。

議員 遊休農地問題の対策を問う。市民経済部長 本市では、地域を8地区に区分けし、各地域の農業者等と話し合いを重ねており、現在は各地域の課題を把握し、課題解決に向けた検討を進めています。中でも将来的な担い手不足に向けた取組としては、

担い手それぞれがどの範囲でどのくらいの面積を引き受けられるのかという意向を共有し、それらを地図上に可視化することで将来高齢などを理由に離農される方が出てきた際にも、円滑に農地を引き継げる体制づくりを進めているところです。また、こうした取組を通じて農地が一定の範囲に集約されることで作業効率向上が期待できると考えています。さらなる対策の検討をお願いします。

公共交通の再編と街づくりの方向性について

札野 章俊 議員



議員 高校生まちづくりワークショップで政策提言を行ってくれた彼らの声を大切にすべきだと思います。

総合政策部長 提言書は高校生の立場から自由な発想で取りまとめたのだき、若者世代からの貴重な意見として今後の街づくりの参考としたいと考えております。

議員 松葉小学校の跡地利用については、健康寿命延伸のための取組に重点を置いた活用を検討すべきです。

総務部長 住民アンケートでは子育て支援、教育環境、商業施設、防犯・防災機能の充実を求める声が多く、機能としては多世代が交流する空間、子育て支援施設などが挙げられました。

議員 当市の公共交通は、その成り手不足、ドライバー不足から存続の

不安が懸念をされており、この問題を打開するために、ライトレールのような新しい公共交通を考えなければいけないと思うが、所見をお伺いいたします。

都市整備部長 LRT導入の可能性については、導入や維持に関する費用、また、人口規模や採算性、事業継続性といった観点から大変厳しいと考えていますが、公共交通を取り巻く環境は変化しており、移動手段に対するニーズも時代の変化とともに変化していると認識しています。引き続き、先進事例の調査研究や交通事業者との連携を密に行いながら、よりよい地域公共交通ネットワークの構築に努めます。

※LRT：次世代型の路面電車システム

持続可能な龍ヶ崎市 創出について

大竹 昇 議員



議員 過去に「県南の雄」と言われた龍ヶ崎市の人口ピークは2010年で、若者人口（厚生労働省の定義）は24791人、2025年は18304人で6487人も若者が減少しています。人口減少、高齢化が進めば、予算や組織数の削減を余儀なくされ、公助が縮小されます。また、地域コミュニティを支える自治会を構成する市民の減少は共助の力も低下させ、地域コミュニティの崩壊に繋がります。そこで、定住促進支援策の取組をお聞かせ下さい。

総合政策部長 若者の定着と子育て世帯の流入施策の一つとして実施した、新婚生活を開始する29歳以下の方に最大10万円を補助する事業の実績は、令和6年度79件、令和7年度は2月末時点で60件であり、近年は、0歳から14歳の転入超過が見られます。

議員 龍ヶ崎市街地のまちおこしですが、竜ヶ崎駅や龍ヶ崎市駅周辺のウォークアブル推進にあたり、立地適正化計画に基づく居住移動地域について、ご説明下さい。

都市整備部長 立地適正化計画は、都市の持続可能性を確保するため、医療、福祉、商業等の都市機能や居住を一定の区域に誘導することで、生活サービス機能を維持し、公共交通と連携したコンパクトシティを実現することが目的です。

議員 2期目を迎えた市長から、輝かしい、新しい文化創出へのグランドデザインをお聞かせ下さい。

市長 龍ヶ崎市駅ロータリーの改修や、幹線道路沿道・市街地縁辺部の土地利用等、持続可能な龍ヶ崎市の創出に向け、新しい龍ヶ崎の都市構造を描いてまいります。

令和9年度以降も「小中学校の学校給食費の無償化」を求める

伊藤 悦子 議員



議員 令和8年度の小学校の学校給食費の無償化は喜ばれています。学校給食は教育の一環です。令和9年度以降も無償化を求めます。

教育部長 給食費無償化は、子育ての経済的負担を軽減し、物価高騰下において家計を下支えし、さらには教育の機会均等の確保、食育を含む学校教育の充実

に資する視点からも意義あるものです。令和8年度は、国・県の交付金

は、子育て支援施設を望む長山小学校の跡地活用は、地域の方から「子ども高齢者も使えるような施設に」との要望があります。どのようになりますか。

総務部長 地域住民で構成する跡地活用検討委員会を組織し審議をしています。住民アンケートでは、子育て支援施設を望む声が多く、次いで医療機関等、スポーツや体を動かすためのグラウンド、高齢者相談窓口、高齢者施設となっています。

住民の皆様と対話を重ね長山地区が住みやすくなる街となるよう活用方策を検討します。

長山小学校の跡地活用について

は、子育て支援施設を望む声が多く、次いで医療機関等、スポーツや体を動かすためのグラウンド、高齢者相談窓口、高齢者施設となっています。

住民の皆様と対話を重ね長山地区が住みやすくなる街となるよう活用方策を検討します。

不登校問題は

親同士の助け合いが必要

椎塚 俊裕 議員



議員 不登校児童・生徒の親同士のコミュニケーション提供の場について伺います。

教育部長 教育センターでは、適応指導教室に通級している児童・生徒の保護者に対し、定期的な面談や不登校に悩む電話・来所による相談を継続

して、必要なら医療機関や外部相談機関、民間フリースクールや放課後ティサービス等の情報提供を行い、個別に保護者支援を行っています。さらに個々の保護者ニーズを慎重に捉え、適切な支援のため各学校へ指導言に努めます。

STEAM教育の展開

議員 STEAM教育の導入、定着に向け、学校間での進め方や教員の指導スキル、負担感及びフオロー、授業時間確保のハードル、教材整備の充実について伺います。

教育部長 今後の課題は、長山中学校での実践での成果や、授業上の課題を十分に検証し、それらを踏まえ各校への授業支援を充実させ、STEAM教育に取り組み教員への支援体制の整備が必要

です。STEAM教育では、1人の先生に頼ることなく、全体で進んで継続してやっていけることが一番重要で

外国人留学生との共生

岡部 賢士 議員



議員 4〜5人家族向け一軒家に15人以上もの留学生が共同で居住し、ごみや騒音の問題など悪いマナーによるトラブルが急増している。利根町の学校に通う留学生による問題だが、隣接する当市内でも迷惑行為による相談が激増している状況。そもそも、一般家族向けに建てられた住宅に15人以上もの留学生が寮のように居住することは法的な違反にならないものなのか、市の認識を。

都市整備部長 寮や寄宿舎として使用する場合には用途変更の手続きが必要になる場合があるが、現在の法令上、一つの住宅に居住する人数についての明確な規定はない。

議員 日本語を殆ど理解できない留学生ばかりで、地区の住民はコミュニケーションがとれず苦慮している。留学生を受け入れて

ている学校、留学生に住宅を賃貸しているオーナーや管理業者に対し、改善に向けた指導監督を行うべきではないか。

都市整備部長 法令を所管する機関に権限が付与されており、市から直接的な指導監督を行うのは難しい。

議員 ここ数年で急激に問題化しているため、法律や制度が時代に追いついていない状況と考える。近隣自治体、県、国との連携をはかり、法改正や制度上の改善を進めるべき。排他的にならず、共生していくためにも、早急に外国人問題全般に関し、市の組織体制を整え、市を挙げて積極的に取り組むよう要望する。

掲載以外の質問項目

- ◆障がい者への配慮とユニバーサルデザイン推進
- ◆教育格差の是正（全ての子どもに平等な教育を）

本市の教育について

石嶋 照幸 議員



議員 本市の「龍の子人づくり学習」と「STEAM教育」が融合することで、どのような成果が期待できるのでしょうか。

教育長 現代は、与えられた課題を解決するだけでなく、自ら問いを立て、他者と協働しながら解決策を想像していく力が求められています。本市では、子どもたちがこれからの人生で困難な課題に直面しても、自らの力で試行錯誤し、粘り強く問題を解決していく力を身につける教育を目指します。

本市の未来を担う子どもたちが、社会の変化に主体的に対応し、新たな価値を創造できる人材へと成長することを期待します。

防犯灯の維持管理について

議員 本市の防犯灯の維持管理について、市長のお考えをお聞かせください。

市長 近年の物価高騰、少子・高齢化等による社会構造の変化に伴い、地域コミュニティの運営も、これまで以上に地域の皆様の負担が大きくなっている状況は理解しております。

見、ご要望等を踏まえ、周辺自治体、先進自治体の例などを参考に市と地域双方にとって望ましい運用方法について検討を進めていきたいと思っております。

議員 今こそ過去の概念を打ち破り、時代に即した防犯灯維持管理体制への転換をお願いいたします。

地域の皆様からのご意見

いじめ問題について

後藤 光秀 議員



議員 SNS上で暴力行為などの動画が拡散され、改めて現代におけるいじめ問題について懸念が大きくなっている。文科省の調査報告では全国的にいじめの認知件数が増加傾向、茨城県は全国で上位2番目で過去最多。本市の現状を伺います。

教育部長 令和4年度は小学校202件、中学校117件、令和5年度は小学校317件、中学校164件、令和6年度は小学校4

議員 不登校児童生徒について、改めて本市の推移を伺います。

教育部長 令和4年度は小学生86名、中学生158名、令和5年度は小学生84名、中学生123名、令和6年度は小学生91名、中学生139名で、今年度は1月末日現在で小学生

87名、中学生129名で前年度とほぼ同程度の見込。
議員 選択肢を与えるための探究学習や体験型の教育をもっと提供し、夢や目標を見つけ、そのために学校に行かなきゃと自然と思えるようリアルな気持ちを育める教育環境を目指してほしい。

ニュータウン関連 民間路線バスの増便を！

加藤 勉 議員



議員 運転手の働き方改革や運転手不足、新型コロナ禍の公共交通離れなどの様々な要因が重なり、路線バスが大幅に減便されて市民生活に大きな支障が出ています。常磐線と路線バスとの運行本数のミスマッチもあり早急な改善を望むばかりですが、この現状をどのように評価しているのか。

都市整備部長 ニュータウン関連路線バスについては、主に通勤・通学時の基幹的な移動手段として大変重要な役割を担っています。夜間時間帯や休日などで路線によって運行本数にばらつきがあるため、不便を感じる場面が見られます。また、人件費や燃料費等のコスト上昇が深刻化し、現行ダイヤを維持すること自体が容易でないこと認識しています。

議員 帰宅時間帯の午後8時以降に焦点を当てれば、最低でも1時間当たり1本以上は増便してほしいので、市が具体的な改正案を示して運行事業者に働きかけてはどうでしょうか。補助金を交付してでも実現すべきなのではないでしょうか。

市長 定住・移住促進の視点では大変重要な取り組みとなりますので、午後8時台以降のバス空白時間帯の状況を確認しながら、改めてこれまでの市民要望等を運行事業者に伝えつつ、課題や必要な支援などを運行事業者と調整してまいります。
議員 現在の運行事業者への配慮も理解しますが、市民への利便性の向上を考えると、午後8時以降のニュータウン関連路線バスの運行について、他の交通事業者に運行の可能性を探る時期に来ているのではないのでしょうか。

教育とまちづくりの提案

石引 礼穂 議員



議員 高校で本格化する探究活動について、本市の支援の現状と今後の方向性を伺います。
総合政策部長 市は高校との連携や補助制度により支援を進めています。く求めます。

まちなか創再生について

議員 創業支援や事業承継といった個別支援施策にとどまらず、市長公約として掲げているまちなかのにぎわいづくりについて、具体的にどのようなビジョンを描き取組を進めていくのですか。

市長 具体的な事業内容は現在検討段階ですが、地域の実情やこれまでの取組、地域の方々の思いなどを踏まえながら丁寧な検討を進めてまいります。
議員 民間主体の動きを確実に成果へつなげるた

めには、より踏み込んだ支援と実行力が問われます。空き店舗対策では、移住促進と一体となった改修支援を提案します。また、教育と経済を分断せず、人材が地域で挑戦できる循環をつくることこそ、未来への責任です。
子どもたちが学びを通じて描いた未来が、このまちで実現できる環境を整えることこそ、今の私たちに求められている役割であると考えます。

医療・介護体制の強化促進が急がれる!!

杉野 五郎 議員



議員 これまでの論議を踏まえると、今、求められている政策・施策とは何か。自ずと解ります。議員 安心安全の面で、市民の安心安全を確保するために、揺るぎない社会保障が求められているのです。医療・介護体制の整備促進も同様です。（因みに特養待機者は108人）。又、高齢者の相談窓口ともなる地域包括支援センター支所設置等が急がれており、喫緊の課題となっています。これら施策を後期基本計画（令和9年度〜令和12年度）にどう具体化されるのか。

市長 後期基本計画の自身については、これから具体の検討に入ります。今程、杉野議員からの提案がありました地域福祉や医療、社会保障制度と言った分野についても共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくりに

掲載以外の質問項目
◆「国民生活に関する調査」結果についての考察
◆「いばらき幸福度指標」での「県民幸福度」ランクについて

台の下エリアの将来土地利用の方向性

山村 尚 議員



議員 本エリアは駅徒歩圏にあり、駅前とニュータウンをつなぐ結節点として、本市の将来都市構造に影響する区域です。一方で、将来像や方向性が十分に整理されていないことが課題です。基本的な考え方は、**都市整備部長** 当該エリアは市街地縁辺部ゾーンに位置づけ、制度を活用した土地利用を図る区域です。市街化調整区域のため開発には制約があり、一体的整備には土地区画整理事業による市街化区域編入が現実的です。地区計画制度は条件が厳しく、本エリア規模での対応は難しいと認識しています。**議員** 駅周辺整備やニュータウン再生が進めば、本エリアは人の流れが交差する接続点となり得ますが、時間軸や方向性を含む全体戦略が十分整理されていないのではないかと懸念しています。

市長 本エリアは県南地域でも数少ないJR常磐線駅徒歩圏の未利用地で、将来のまちづくりに向け大きな可能性を持つ区域と認識しています。2期目の公約にも位置づけ、担当部署に条件整備や民間参入促進の検討を指示しています。段階的に価値を高める考え方は有効で、実現に向け検討を進めます。**議員** 時間軸を伴う戦略へ昇華し、段階的に価値を高め、将来の選択肢を広げる方針の明確化が重要です。地権者や民間事業者へのメッセージとし、駅周辺整備と連動した本市の象徴的エリアとなることを期待します。

公共施設の太陽光発電設備の貢献度は7%

大野 誠一郎 議員



議員 現在予定している、8ヶ所の公共施設のCO2削減効果とゼロカーボンシティへの貢献度をお尋ねします。**都市整備部長** 市の温室効果ガス排出量を、2030年度までに2013年度比で46%削減し、391トンにすることを目標に掲げています。この削減目標のうち、市の主体的な取り組みにより削減すべき2310トンに対し、今回の一連の事業による、公共施設の太陽光発電設備の整備により削減効果は約60トン、約7%に相当するものがございます。

議員 この太陽光発電設備の整備は、CO2削減の中心的な取り組みですが、それでも7%削減ということは、その他のゼロカーボンシティの取り組みの削減効果をお尋ねしたいと思います。**都市整備部長** 補助制度による削減量を本市全体の削減目標である13万9000トンと比較いたしますと、その貢献割合は限定的なものにとどまっております。住宅における1戸あたりの年間削減量は蓄電池を導入した住宅で約1.1トン、ZEH住宅では約2.5トンとなっており、これは市全体の目標量に対しては僅かな割合です。**議員** 今年度の補助対象の事業は、蓄電池が30件、ZEH住宅が7件、省工新家電買換え促進事業が予算化されています。ゼロカーボンシティの取り組みの削減効果は、その都度、積み上げていかないと、2030年度の国の46%の削減目標、市の43.3%の目標削減は達成できません。肝に銘じ積み上げていただきたいと思えます。

▼教育委員会委員

再 任



やまざき まり 氏
山崎 麻里 氏

▼公平委員会委員

新 任



えびはら かずお 氏
海老原 和夫 氏

▼人権擁護委員

再 任



よこやま よしひで 氏
横山 善英 氏

新 任



ふじおか ひろこ 氏
藤岡 洋子 氏

龍ヶ崎市議会公式SNS



X (旧 Twitter)



Facebook



Instagram

龍ヶ崎市議会だより（まいりゅうレポート）の「表紙写真」を募集しています

▶募集内容 「龍ヶ崎市議会だより」の表紙写真

- ・応募者本人が龍ヶ崎市において1年以内に撮影したもの ・未発表のもの
- ・デジタルデータで提供できるもの
- ・人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けているもの
- ・個人の所有物を被写体とした場合は、所有者の承諾を受けているもの

▶応募資格 市内在住・在学・在勤の方

▶応募方法 / 応募先

①応募者（撮影者）の氏名、住所、連絡先、②撮影年月日、③撮影場所、④写真のタイトル・一言コメントをご記入のうえ、メール(gikai@city.ryugasaki.lg.jp)によりご応募ください。

▶応募期間 年間を通じて随時受付します



▲募集の詳細については
こちらからご覧ください

編集後記

新年度の始まりとともに前向きで新しい風を感じられる季節となりました。

今年は午年。勢いよく駆ける馬のように龍ヶ崎市が更に前進するように願うとともに、人間万事塞翁が馬という言葉が示すように、予期せぬ出来事に柔軟に対応できるような心構えも大切にしたいところです。

今号では3月の定例会で議論された内容を中心に、龍ヶ崎市議会の活動の一部をぎゅつとまとめました。龍ヶ崎市議会では、開かれた議会を推進していくこ



と、動画配信やSNSなどによる情報発信にも力を入れております。会議の様子などをご覧いただくことで、議会をより身近に感じていただければ幸いです。

この龍ヶ崎市議会だよりも市民の皆さまと議会をつなぐ身近な存在であり続けられるよう、今後も改良を重ねていきたいと思っております。ご意見やご要望をお気軽にお寄せください。

岡部 賢士 記

次の議会

令和8年第2回定例会は

6月3日

開会予定です

広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 石嶋 照幸 |
| 副委員長 | 伊藤 悦子 |
| 委員 | 山宮留美子 |
| 委員 | 岡部 賢士 |
| 委員 | 後藤 光秀 |
| 委員 | 油原 信義 |